



表17 他種シャコガイ初期仔貝との共生試験1(大型水槽)の試験方法

初期仔貝種類及び共生藻種類	試験回次1:ヒレジャコ初期仔貝にヒメジャコ共生藻及びヒレジャコ共生藻を各々単独投与 試験回次2・3・4:ヒメジャコ初期仔貝にヒレジャコ共生藻及びヒメジャコ共生藻を単独投与
初期仔貝の飼育容器及び幼生収容数	試験回次1・3:500lホリカホネット水槽に各々2万個体収容 試験回次2:5k1及び10k1FRP水槽に各々150~300万個体収容(通常の種苗生産) 試験回次4:500lホリカホネット水槽に各々15万個体収容
飼育環境	温室(透明ホリカホネット波板構造)内に飼育水槽を設置
共生藻培養方法	恒温培養室(光強度60 $\mu$ mol/m <sup>2</sup> /sで8:00~20:00、12時間照明点灯)
飼育方法及び観察方法	毎日、培養した共生藻を30~100個/mlになるように給餌。換水は7日毎に行い、飼育水を排水しながら60 $\mu$ mネットで仔貝を漛し取って回収し、超精密濾過海水を満した同型水槽に移す。換水時に生残仔貝を容積法で計数し、実体顕微鏡(×50)下で共生関係の成立を確認。
試験期間	日令0から開始して、全ての個体が死亡若しくは共生成立するまで

表18 他種シャコガイ初期仔貝との共生試験2(小型容器)の試験方法

	初期仔貝	他種共生藻
シャコガイ初期仔貝の種類及び給餌する共生藻の種類	試験回次1	ヒレジャコ初期仔貝
	試験回次2・7~9	ヒレナシジャコ初期仔貝
	試験回次3	ヒメジャコ初期仔貝
	試験回次4・5・6	ヒメジャコ初期仔貝
	試験回次10	ヒレジャコ初期仔貝
	試験回次11~14	ヒメジャコ初期仔貝
各試験回次とも初期仔貝と同種共生藻を対照区とした。		
初期仔貝の飼育容器	試験回次1~6:組織培養プレート(5ml×12穴)2面に仔貝1個体/穴(水量4.5ml) 試験回次7・8:80個体/アルミカップ(450ml)、50個体/透明プラスチックカップ(375ml) 試験回次9:50個体/透明プラスチックカップ(375ml)、12個体/組織培養プレート(5ml×12穴) 試験回次10~14:50個体/透明プラスチックカップ(375ml)	
飼育環境(光)	恒温培養室(光強度60 $\mu$ mol/m <sup>2</sup> /sで8:00~20:00、12時間照明点灯)	
飼育方法及び観察方法	毎日、共生藻を30~100個/mlになるように給餌し、培養倒立顕微鏡(×50)下で共生成立及び生死の確認を行う。換水は1~7日毎に飼育水から仔貝のみをバスツールピペットを用いて新鮮な飼育水(超精密濾過海水にストレプトマイシン10ppm投与)を満した他の同様容器に移して行う。	
試験期間	日令0から開始して、全ての個体が共生成立若しくは死亡するまで	